

# 産業立地の促進と新産業用地の整備 兵庫県

## 優れた立地特性

北は日本海に面し、南は瀬戸内海から淡路島を介して太平洋へと続く広い県域を持つ兵庫県。県南部の瀬戸内臨海部は、鉄鋼、機械・金属製品、化学製品などの産業が集積する全国有数の工業地域。一方、県中部、北部は、ブランド産品で知られる農林水産業が盛んな地域だが、近年は企業立地も進んでいる。優れた立地特性が兵庫県の強みで、広大な県土に、陸・海・空の充実した交通ネットワークを持ち、“西日本の交通結節点”となっている。

また県では、サプライチェーン強化・再構築対策として、従来の支援制度（県内全域対象に、新規立地する工場、研究所、事務所等に対して、法人事業税等の軽減、設備投資及び雇用に対する補助等）を拡充し、県内回帰等により生産施設を新增設する製造業等を支援する。

### ■兵庫県のデータ

面積：8,401 km<sup>2</sup>  
 人口：5,448,274人（2020年6月1日現在・推計人口）  
 県庁所在地：〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
 TEL：078-341-7711（代）  
 ホームページURL：https://web.pref.hyogo.lg.jp/

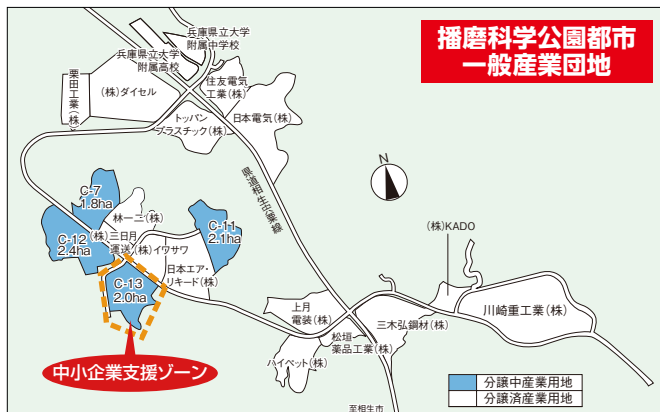
## ●兵庫県の産業用地等一覧



- |                                  |                |                      |
|----------------------------------|----------------|----------------------|
| 1 ポートアイランド(第2期)                  | 7 北摂三田第二テクノパーク | 14 淡路津名地区産業用地(生穂地区)  |
| 2 神戸テクノ・ロジスティックパーク<br>(神戸複合産業団地) | 8 ひょうご小野産業団地   | 15 淡路津名地区産業用地(佐野地区)  |
| 3 神戸空港島                          | 9 播磨科学公園都市     | 16 淡路市夢舞台サステイナブル・パーク |
| 4 神戸サイエンスパーク                     | 10 赤穂磯産業団地     | 17 南あわじ市企業団地         |
| 5 フェニックス事業用地                     | 11 山陽工業団地      | 18 加西インター産業団地        |
| 6 ニュー三田インダストリアルパーク               | 12 篠山中央地区      |                      |
|                                  | 13 山南工業団地      |                      |
- ※赤字については、P.23～25に説明あり

## 世界を視野に入れたモノづくり拠点に最適 —「播磨科学公園都市」—

「播磨科学公園都市」は県南西部の3市町（たつの市・上郡町・佐用町）にまたがる自然豊かな丘陵地にある。世界最高性能の大型放射光施設SPring-8、X線自由電子レーザー施設SACLA（さくら）、兵庫県立大学などの先端科学研究機能を備えており、モノづくりのための支援体制が充実している。



## 大規模区画にも対応可能

### —「淡路津名地区産業用地」—

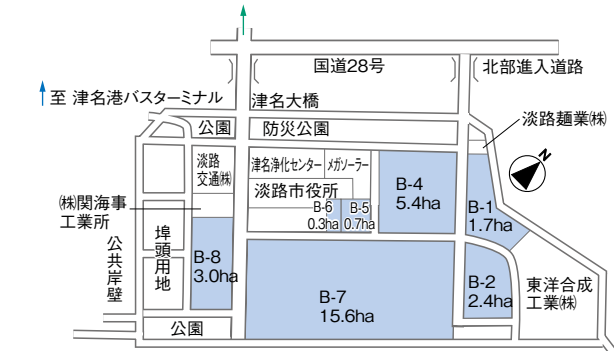
本州と四国を結ぶ交通の要衝、淡路島東海岸の中央部に位置する「淡路津名地区産業用地（生穂地区）」は、最大15.6haもの広大な区画が確保可能で、大規模区画を中心に整備されている。地区内には、耐震強化岸壁を備え、市の防災拠点も立地する、充実のインフラが魅力だ。



### 淡路津名地区産業用地（生穂地区）

分譲中用地

津名一宮I.C.へ約4km、車で約5分



#### ●淡路津名地区産業用地（生穂地区）の概要

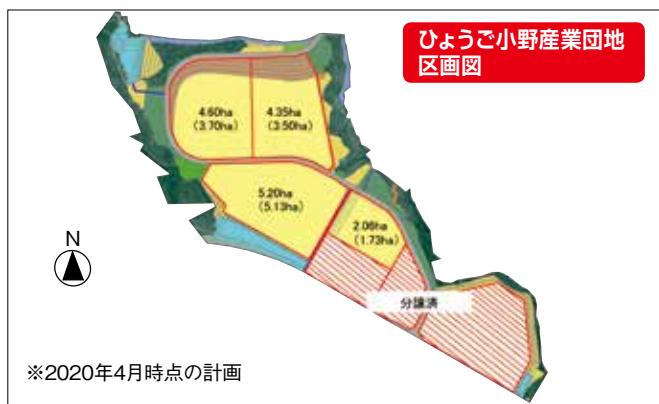
所在地：淡路市生穂新島  
 事業主体：兵庫県企業庁  
 全体面積：45.2ha（分譲予定面積29.3ha）  
 用途地域：都市計画区域（用途地域指定なし）

## 交通至便な新産業団地 —「ひょうご小野産業団地」—

県企業庁は、企業立地の促進や雇用の創出など地域創生に取り組むため、県内の産業用地の状況も踏まえ、小野市と共同で新たな産業団地「ひょうご小野産業団地」を整備する。開発面積は約40haで、小野市が道路、上下水道、公園などの関連インフラ整備を行い、県企業庁



が産業団地の造成及び分譲を行う共同事業方式での整備。造成期間は、2016年度から2021年度まで（予定）で、2020年度下期の第2期分譲開始（予定）を目指している。山陽自動車道の三木小野ICから車で約5分と至近なうえ、国道175号にも近接しており、アクセス良好な好立地だ。



## 西日本の主要都市へのアクセスに優れた大規模用地

### —「加西インター産業団地」—

加西市では、地域経済の発展と産業用地の内陸需要に応えるため、中国自動車道加西インター周辺に新たな産業団地の整備を計画。全体整備区域48.8haのうち、第1期事業として中国自動車北側35.7haの区域に4つの工区（1-1工区・1-2工区・2・4工区）の整備を進める。

京都・大阪・九州へ好アクセスの中国自動車道直結、既存物流事業者の充実など、西日本の事業拠点ポテンシャルが高く評価され、1-2工区は2019年に早くも進出企業が決定した。さらに、2・4工区は民間開発による造成整備の提案が可能であり、スピード感とコストパフォーマンスに優れた産業団地整備が期待されている。



## 陸路・海路・空路が集結・連携する国際都市 —神戸市—

古くから交通の要衝であり、国際港湾都市として発展してきた神戸。モダンな雰囲気や生活の便利さから、「住みやすい都市」として世界的に評価される国際の人気都市だ。陸路・海路・空路すべての交通機関が集結・連携し、あらゆる事業ニーズに応えられる広域交通網を備える。さらに、阪神淡路大震災の経験を生かし、災害に強いまちづくりを確実にかつ先進的に行っている。懸念される南海トラフ最大級の地震が起きたとして、神戸で想定される津波水面高は最大4m（内閣府調査）。それに対して臨海部の「ポートアイランド（第2期）」の地盤高は4.5～6m、護岸高は9mと高く、津波への備えは強い。



## 研究機関、医療産業が集積するビジネス拠点 —「ポートアイランド（第2期）」—

「ポートアイランド（第2期）」は、市街地に近く、陸・海・空の交通アクセスに優れたビジネス拠点だ。市が推進する「神戸医療産業都市」の中核地で関連企業が集積する他、創業の新拠点やiPS細胞を用いた網膜再生治療を行う「神戸アイセンター病院」が開院する等、更なる高度化が進む。2020年10月末には、健康・医療分野のベンチャー企業が活躍する拠点「クリエイティブラボ神戸」が開設予定。優秀な人材の確保も含め、研究開発に適した立地環境が魅力だ。



## 物流・製造に最適な用地 —「神戸テクノ・ロジスティックパーク」—

内陸型の複合産業団地として1998年に誕生し、これまで約150社の企業が進出。計画面積は270haにのぼり、物流施設用地と製造工場用地の2用途で関西屈指の規模を誇る。団地内に直結する神戸西ICから広域幹線網にアクセスできることに加え、三宮都心部まで27分の好立地にある。強固な地盤は災害対応に適し、建設コストを低減できるメリットもあり。これからの時代に適した産業用地として、大手企業から中小企業まで常に高い評価を獲得し、2020年6月時点で物流用地は完売となっている。



※物流施設用地は2018年度に処分終了となっている。

## 充実の企業進出サポート体制

企業誘致に取り組む「神戸エンタープライズプロモーションビューロー」は、用地の相談から、優遇制度の案内、契約、さらに進出後のビジネスマッチングまで幅広くワンストップサービスを展開。インセンティブ面も充実しており、税優遇や補助金など、多彩なメニューを用意し、企業進出を全力でサポートする体制が整っている。

- 固定資産税・都市計画税を最大10年間2/3軽減
- 先端製造業大規模投資促進補助—設備投資額の最大6%
- 企業拠点移転への補助

※各制度の詳細は神戸エンタープライズプロモーションビューロー（裏表紙に掲載）まで、お問い合わせください